

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4:地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	2:交流人口の増加によるにぎわいのあるまちづくり
分野	38:観光
具体的な施策【施策】	87:八代の魅力発信
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意識の向上と市民力によるまちづくり観光を進めるとともに、地域外応援団の活用による八代観光の活性化を図ります。</li> <li>・マーケティング機能の強化による観光プロモーションの実施など、PR戦略の展開を進めます。</li> <li>・インターネットや移動通信端末など、高度な情報通信技術が持つ「双方向性」の活用や、マスメディア・事業者などとの連携により、正確・効果的な情報発信を進めます。</li> </ul>

1	担当課かい名	経済文化交流部_観光・クルーズ振興課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光施設管理業務（新八代駅観光物産案内所、八代駅観光案内所、八代よかとこ物産館、日奈久ゆめ倉庫）及び令和2年7月豪雨による広域交流センターさかもと館復旧工事（電気・建築・建具・空調・かわの家・鮎やな）、新八代駅空調設備復旧工事</li> <li>・新八代駅観光案内所の有効活用</li> <li>・ヘルスツーリズム事業（地方創生推進交付金）の実施、シトラス事業の実施（リモートツアー、ララランチスタンプラリー、SNSによる台湾・香港への情報発信等）</li> <li>・令和2年度観光復興キャンペーン（第1弾6/26～7/31、第2弾8/1～9/30）、国・県のキャンペーン対応（地元説明等）</li> </ul>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	新型コロナウイルス感染症の影響による観光需要の大幅な減に伴う旅館、観光施設、交通、店舗等の売上の低迷、イベントの中止が令和2年～現在に至るまでここ2カ年程度続いている。
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八代市坂本町復興計画に基づく、早期観光施設の復旧・復興に取り組む。</li> <li>・観光案内所（八代駅）管理運営事業において、R4年8月8日以降は、「遙拝八の字広場」の一般借用受付業務も担うこととしている。</li> <li>・旅行エージェントセールスの実施（リモート、訪問、郵送等）</li> <li>・ヘルスツーリズム事業の推進（25,000千円）、八代市観光復興キャンペーン（4,320千円）の実施。</li> <li>・コロナ禍において、価値観やライフスタイル、旅行へのニーズが多様化する中、「安心安全な観光地づくり」や「新しい旅行スタイルによる滞在型観光の促進」など、アフターコロナを見据えた持続可能な観光施設運営、物産・文化・歴史・自然などの地域の誇りや魅力に価値を見出し、目的に沿った情報発信を行い観光客誘客に繋がる取組を行う。</li> </ul>
備考・コメント		

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4: 地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	2: 交流人口の増加によるにぎわいのあるまちづくり
分野	38: 観光
具体的な施策【施策】	88: 地域資源の活用と観光コンテンツの開発
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市特有の温泉、歴史的遺産、伝統芸能、山から海までの自然環境など、多様な地域資源の活用のための体験型観光や滞在型観光の推進、四季を彩るまつり・イベントなど、観光客にとって魅力的な観光コンテンツの開発を進めます。</li> <li>・日帰り、通過型観光からの脱却を図るため、食や自然、歴史・文化、産業など、本市の特性や強みを活かしたテーマ型・体験型観光やニューツーリズムの推進を図るとともに、宿泊を伴う回遊性向上と滞在型観光を進めます。</li> <li>・体験型観光や滞在型観光の核となる観光振興重点エリアを指定し、併せてインフォメーション機能の強化を図ります。</li> <li>・DMOやつしろを核に八代観光をリードする人材を育成します。</li> <li>・観光施設の計画的な長寿命化を進めるとともに、施設の集約・廃止を検討します。</li> </ul>

1	担当課かい名	総務企画部_企画政策課
	現状（進捗状況）	<p>球磨川流域の魅力づくりのため、かわまちづくりを推進しており、新萩原橋周辺地区については、平成30年度に遙拝八の字広場及びトイレ等の基本設計を実施。令和元年度より広場部分の整備工事に着手し、令和2年8月に供用開始を予定していたが、令和2年7月豪雨により整備中であった遙拝八の字広場が被災した。</p> <p>国の基盤部分の災害復旧工事が令和3年度中に実施されることとなったことから、トイレ等の新築工事に関する予算を次年度へ繰り越した。</p> <p>なお、令和3年度末までを期限に、遙拝八の字広場は、国が球磨川の堆積土砂の仮置き場として使用されており、原形復旧（災害前の状態）することとなった。</p>
	施策の進捗度	C（進捗について課題がある）
	課題	新萩原橋周辺地区については、国による原形復旧工事が令和3年度末までに実施されることから、市により実施予定の復旧工事にかかる予算を確保する必要がある。
	第2期計画の方向性	多様な地域資源を活用し、観光客にとって魅力的な体験型観光コンテンツ開発のため、新萩原橋周辺地区において、令和4年8月に遙拝八の字広場の供用開始を目指すこととし、復旧工事や必要な施設整備等の予算を確保し事業に取り組む。
備考・コメント		

2	担当課かい名	経済文化交流部_観光・クルーズ振興課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光施設管理業務（漁協基地、日奈久温泉施設「ばんべい湯・東湯」・さかもと温泉センター「クレオン」・東陽石匠館・東陽交流センター「せせらぎ」「菜摘館」・松中信彦スポーツミュージアム・五家荘観光施設・日奈久観光施設・泉観光施設・東陽観光施設・坂本憩いの家）</li> <li>・八代舟出浮きGWキャンペーン、各支所イベント関係（坂本・千丁・鏡・東陽・泉）</li> <li>・日本遺産クラウドファンディング、災害復興クラウドファンディング、他市から災害復興クラウドファンディング受入など。</li> <li>・荒瀬ダム対策、指定管理施設補償金の支払い（坂本・東陽・泉）など。</li> </ul>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	新型コロナウイルス感染症の影響による観光需要の大幅な減に伴う旅館、観光施設、交通、店舗等の売上の低迷、イベントの中止が令和2年～現在に至るまでここ2カ年程度続いている。
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各支所イベントの推進（坂本・千丁・鏡・東陽・泉）</li> <li>・八代市坂本町復興計画に基づく、早期観光施設の復旧・復興に取り組む。（荒瀬ダム撤去対策事業）</li> <li>・観光振興に係る施策を戦略的・計画的に推進するため、令和3年度「八代市観光振興計画」を策定する。</li> <li>・国内観光客やインバンド需要に経済的依存を求めすぎない地域に愛される観光地づくり、かつ「安心安全」「持続可能」「ブランド化」「観光DX」等、新たな観光需要の創出を目指す。</li> </ul>
備考・コメント		

3	担当課かい名	経済文化交流部_イベント推進課
	現状（進捗状況）	<p>【全国花火競技大会事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財源確保策として有料観覧席の増設や見直しを行い、大会運営に必要な財源の確保に努めた。</li> <li>・会場設営等を民間事業者へ委託し、経費の削減、効率化を図った。</li> </ul> <p>【九州国際スリーデーマーチ事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者への記念品梱包作業などを民間事業者へ委託し、経費の削減、効率化を図った。</li> </ul>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<p>※新型コロナウイルス感染症の影響から、イベントの開催が出来ず、目標を達成できなかった。</p> <p>【全国花火競技大会事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野外でのイベントであり、観覧者数が天候に左右される。観覧者が安心して観覧できるよう取り組んでいく必要がある。</li> </ul> <p>【九州国際スリーデーマーチ事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者・来場者数は、高い水準を保っているが、昨今、児童・生徒の参加の減少が見受けられることから、魅力的なコースの設定や、会場でのイベント等を見直して行く必要がある。</li> </ul>
	第2期計画の方向性	<p>【全国花火競技大会事業】</p> <p>観覧者の快適性、安全性を充実させ、魅力ある大会とするため、今後は（一社）DMOやつしろをはじめとした民間事業者への委託や協働等、市民ボランティアや民間活力の導入等を検討する。</p> <p>【九州国際スリーデーマーチ事業】</p> <p>効率的な全体運営を行うために「コースの造成」「ステージ運営」など業務内容を精査し、民間事業者への業務委託を検討する。</p>
備考・コメント		

4	担当課かい名	農林水産部_フードバレー推進課
	現状（進捗状況）	<p>本事業の実施希望事業者に対し、現地調査と勉強会を開催した。勉強会等をうけてモニターツアーと熊本県実施の観光キャンペーンを活用したツアーなどを実施し、リーフレット等に掲載した旅行商品として23プラン（H30：8、R1：7、R2：8）を完成させた。</p>
	施策の進捗度	B（やや進捗が遅れている）
	課題	<p>旅行商品のPR不足と利用者のニーズに合った商品造成ができなかった。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりバスツアーを中止する状況となったことから目標に達していない。</p>
	第2期計画の方向性	<p>本事業のメディア等を活用したPR活動、収穫物などの掘り起こしや実施希望事業者と受入体制等について協議を行うとともに、モニターツアーの実施等により商品素材のブラッシュアップと融合等を図り売れる商品化の構築を図る。また、マイカーなどを活用した個別型のツアー造成について検討を行う。</p>
備考・コメント		

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4: 地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	2: 交流人口の増加によるにぎわいのあるまちづくり
分野	38: 観光
具体的な施策【施策】	89: 広域観光の推進
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1～2つの観光エリアでじっくりと滞在する観光へ転換するため、旅行者の行動範囲にふさわしい観光行政、観光施策の展開を進めます。</li> <li>・ 県南15市町村との連携を進め、連携・統一したプロモーションの展開や広域観光ルートなどを設定し、圏域内におけるさらなる交流人口の拡大を図っていきます。</li> <li>・ 定住自立圏を形成する氷川町・芦北町と連携した「シトラス観光圏の推進」により、柑橘系という括りで、圏域一体となって他地域との差別化を図り、認知度を高めていきます。</li> <li>・ 民間鉄道会社における観光列車を、広域観光ツールの一つとして位置づけ、官民一体となったまちづくり観光を進めます。</li> </ul>

1	担当課かい名	経済文化交流部_観光・クルーズ振興課
	現状（進捗状況）	<p>(1) くまもと県南広域連携推進事業（15市町村：八代氷川・人吉球磨・水俣芦北）では、個別市町村での観光振興策の課題（訴求力不足）を補うため、テーマやストーリー性を持たせた観光ルートの開発、4か国語の多言語パンフレット作成、「くまもと☆みなみ」の統一したキャッチコピーで定着化を目指し取り組んでいる。</p> <p>(2) シトラス観光圏実施事業（H29年度～）においては、3市町連携強化、戦略・県内プロモーション、国内外プロモーション、海外の認知度向上と国内における旅の目的地としての認知を目的として取り組んでいる。なお、H30～R2年度までは地方創生推進交付金を活用し展開した。</p>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<p>(1) 昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により、R2年度は、観光客誘客の視点ではなく観光事業所からの要望が高かった物産販売に特化した取組みしか着手できていない。</p> <p>(2) シトラス観光圏においては、地域住民を含め認知度が低く、また、継続性のある事業が少ない状態である。そのため、今年度ブランディングの方向性を再検討したうえで、県民向けのマーケティングを実施する。また、来年以降、県をまたいでの国内旅行が回復する見込みであることから、オンラインツアーを実施し、将来的な誘客の増加に努める。また、シトラス観光圏の主目的である海外インバウンド誘致のため、体験型観光の掘り起こしと磨き上げを実施する。</p>
	第2期計画の方向性	<p>(1) 広域観光連携事業においては、個々の市町村の特色を出すことより、連携市町村全体にチャンスが生まれ相乗効果が図れるよう、関係自治体、観光関係団体、農商工団体・民間の関係者を巻き込みながら県南地域の認知度向上と県南地域全体で経済浮揚を図っていく。</p> <p>(2) 八代市・芦北町・氷川町地域住民と熊本県民へのシトラス観光圏の周知が必要であり、特に収穫時期の冬場の誘客のために、継続的なイベントの実施、グルメ・商品の開発が必要である。また、県外客、海外客それぞれに合わせた、マーケティングとPRが必要である。</p>
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	4:地域資源を活かし発展するまち
施策の大綱【政策】	2:交流人口の増加によるにぎわいのあるまちづくり
分野	38:観光
具体的な施策【施策】	90:インバウンドの推進
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人バイヤーなどへのファムトリップやエージェント訪問、商談会への出展やICTを活用した情報発信などによる「外国人観光客誘致促進」を行います。</li> <li>・急増する海外大型クルーズ客船への対応を強化するため、周遊バスの運行や多言語パンフレット、通訳ガイド、WiFi環境の整備など、訪日外国人観光客がストレスを感じることがないように、環境を整えていきます。</li> <li>・ターゲットを意識し、テーマ・ストーリー性に基づいた「インバウンド向け観光ルートの開発」を行います。</li> <li>・海外大型クルーズ客船のツアーバスに参加しないフリー客や乗務員に対する「周遊バス運行の機能強化」を図るため、運行ルート、料金の見直しを適宜行うとともに、まち歩き観光を進めるため、レンタサイクルの利用環境を提供します。</li> <li>・自家用車以外の交通手段による来訪・周遊の促進を図るため、「タクシー・レンタカー利用促進」や送迎バスなどを含めた二次交通の充実を図ります。</li> </ul>

1	担当課かい名	経済文化交流部_観光・クルーズ振興課
	現状（進捗状況）	①DMOやつしろ機能強化事業・・専門人材の育成、後継人材の育成。マーケティング等の基礎調査の実施。 ②大型クルーズ船インバウンド事業・・和のまちなみ空間整備、体験型観光の開発、多言語による情報発信。 ③八代市・氷川町・芦北町ブランド事業・・戦略計画の策定、晩白柚風呂やアロマクリームづくり体験等。 ④フードバレー流通推進事業・・大都市圏や海外での販路拡大。6次産業化や商品開発等の推進。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	新型コロナウイルス感染拡大により、大型クルーズ船寄港を契機とした新たな観光客層であった「インバウンド」需要を大きく取り込むことはできなかったが、多言語案内充実やWi-Fi整備などの受入環境整備やプロモーション活動を展開したことにより外国人観光客数や観光消費額など一定数の効果はあった。今後は、新型コロナウイルスが落ち着いたアフターコロナにおいて観光業は大きな変化が想定されている。
	第2期計画の方向性	今後、アフターコロナ時代においての変化や新たな観光ニーズに合わせた商品開発、特産品の販路拡大、サポートなど、事業を深化させていく必要がある。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	